

科目名		包帯 2			年度	2025	
英語表記		Bandage 2			学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル		評価方法	自己評価
1	アルミ副子について	金属副子の種類について理解する。	1 クラーメル金属副子	クラーメル金属副子について理解する。	3	3	
			2 東大式金網副子	東大式金網副子について理解する。			
			3 アルミ副子	アルミ副子について理解する。			
2	アルミ副子固定のポイント	アルミ副子による固定について理解する。	1 アルミ副子の幅や長さ	幅や長さの種類について理解する。	3	3	
			2 アルミ副子の構造	アルミ板にスポンジを貼り合わせた構造であることを理解する。			
			3 アルミ副子の用途	主に手指の骨折・脱臼・軟部組織損傷の固定に用いられることを理解する。			
3	熱可塑性キャスト材について	熱可塑性キャスト材について理解する。	1 ロール状・板状	キャスト材がロール状と板状に大別されることを理解する。	3	3	
			2 作成の注意点	キャスト材を作成する際の注意点について理解する。			
			3 固定方法	キャスト材で固定する方法について理解する。			
4	厚紙副子について	厚紙副子の基本について理解する。	1 特徴	厚紙副子の特徴について理解する。	3	3	
			2 原理	厚紙副子の原理について理解する。			
			3 目的	厚紙副子の目的について理解する。			
5	手指 (PIPJ) や腱鞘炎のテーピングについて理解する。	手指や腱鞘炎のテーピングについて理解する。	1 手指のテーピング	手指のテーピングの注意点について理解する。	3	3	
			2 腱鞘炎のテーピング	腱鞘炎のテーピングの注意点について理解する。			
			3 テーピング方法	手指や腱鞘炎のテーピング方法について理解する。			
6	鎖骨骨折のポイント①	鎖骨骨折の原因・症状・診断について理解する。	1 鎖骨骨折の概要	鎖骨骨折の概要について理解する。	3	3	
			2 鎖骨骨折の原因	鎖骨骨折の原因について理解する。			
			3 鎖骨骨折の症状	鎖骨骨折の症状について理解する。			
7	症例報告と三角巾	鎖骨骨折の実際と三角巾の活用について理解する。	1 鎖骨骨折の頻度	鎖骨骨折の発生頻度について理解する。	3	3	
			2 鎖骨骨折の外観	鎖骨骨折の外観上の特徴について理解する。			
			3 三角巾の活用	三角巾の活用方法について理解する。			
8	振り返り	後期1回～7回の講義の振り返り。	1 アルミ副子	アルミ副子について理解する。	3	3	
			2 熱可塑性キャスト材	熱可塑性キャスト材について理解する。			
			3 テーピング	テーピングについて理解する。			
9	鎖骨骨折のポイント②	鎖骨骨折の検査・診断・治療について理解する。	1 鎖骨骨折の検査	鎖骨骨折の検査方法について理解する。	3	3	
			2 鎖骨骨折の診断	鎖骨骨折の診断方法について理解する。			
			3 鎖骨骨折の治療	鎖骨骨折の治療方法について理解する。			
10	肩関節脱臼の固定方法①	肩関節脱臼の概要・発生機転・症状について理解する。	1 肩関節脱臼の概要	肩関節脱臼の概要について理解する。	3	3	
			2 肩関節脱臼の発生機転	肩関節脱臼の発生機転について理解する。			
			3 肩関節脱臼の症状	肩関節脱臼の症状について理解する。			
11	肩関節脱臼の固定方法②	肩関節脱臼の検査・治療・固定方法について理解する。	1 肩関節脱臼の検査	肩関節脱臼の検査方法について理解する。	3	3	
			2 肩関節脱臼の治療	肩関節脱臼の治療方法について理解する。			
			3 肩関節脱臼の固定方法	肩関節脱臼の固定方法について理解する。			
12	厚紙副子の種々な作製と固定例	厚紙副子を用いた固定方法について理解する。	1 厚紙の性質	厚紙の性質について理解する。	3	3	
			2 採寸と裁断	厚紙の採寸・裁断について理解する。			
			3 耐久性向上法	耐久性向上法について理解する。			
13	肘関節後方脱臼の固定法	肘関節後方脱臼の原因・症状・治療・固定法について理解する。	1 原因と症状	肘関節後方脱臼の原因と症状について理解する。	3	3	
			2 治療法	肘関節後方脱臼の治療方法について理解する。			
			3 固定法	肘関節後方脱臼の固定方法について理解する。			
14	振り返り	後期9回～13回の講義の振り返り。	1 鎖骨骨折	鎖骨骨折のポイントについて理解する。	3	3	
			2 肩関節脱臼	肩関節脱臼の固定方法について理解する。			
			3 肘関節後方脱臼	肘関節後方脱臼の固定方法について理解する。			
15	救護の症例紹介	災害現場などで柔道整復師が行う救護活動の事例を理解する。	1 活動した被災地例	被災地での活動例について理解する。	3	3	
			2 傷病者の状況	災害現場における傷病者の状況について理解する。			
			3 柔道整復師の救護例	災害による傷病者への柔道整復師としての対応			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかつた、D：まったくできなかつた

備考 等